



# もり 森林の風

特定非営利活動法人  
森林の風  
会長 蒲田 博  
2010年3月発行

第3号

## だより



### 初めての間伐作業を終えて

辻 則之

昨年の7月から約8ヶ月間、私を含めた「森林の風」会員1年生たちは森林組合から鈴鹿の間伐作業を任されました。任された施業地は26町歩。地内の林道を端から歩いて20分以上もかかる広さです。現地では瀧口・櫻井両氏が指導員を務め、私たちはチェーンソーの操作から測量・プロット・林分調査の技術を教わりながらひとつずつ

作業を熟(こな)していきました。

日が経つにつれ1年生の私たちの技術も作業量も上がり当初無理かと思われた面積地でしたが、なんとか期間内に完了することが出来ました。ハチに追われたり、間伐中危険な目にも遭いました。それでも施業を終えた山林に光が差し込むのを見ると、達成感は言い尽くせないものがあります。

これが『水源の森か』という実感を共有できたのは最高です。

今後もこのような森林を私たちの手でどんどん広げていきます。

### — 目 次 —

|        |               |            |           |       |
|--------|---------------|------------|-----------|-------|
| 会員の広場  | 日々探求          | 鹿害対策       | 結果報告      | 2、3、4 |
|        | 報 告           | HOLZMIKAWA | をたずねて     | 5     |
|        | [ side1 植物図鑑  | / side2    | 面白かった1冊 ] |       |
| 事務局だより | 水源の森フォーラム2010 | お知らせ       | 編集後記      | 6     |

## SIDE1. 植物図鑑

## クロモジ

皆さんご存知と思いますが、高級料理屋さんなんかでみる少し太く、四角い爪楊枝(樹皮が一部ついています)の原木はこのクロモジです。

落葉低木で鈴鹿あたりでもたくさん見られます。

クスノキ科に属し材に独特の香りがあるので楊枝なんかに使われるのでしょ。



芽を出す前の姿がおもしろくて写真にしました。まあいのは花芽、とんがっているのが葉芽です。もう少しすると、薄黄色の花をいっぱいつけます。 【裏川】

落葉低木。雌雄異株。樹高2～5m。花が咲くころに葉も伸びだす。樹皮は暗緑色で黒い斑点が多い。



## 会員の広場

## 日々探求 Study 鹿害対策 結果報告

【桜井】

## 1 被害の状況

全国的にニホンジカが急増しており、森林被害が大きな問題となっています。ここ三重県の鈴鹿山系においても被害が拡大しています。

三重県内のニホンジカの推定生息数は、2002年度の38,000頭から2006年度には53,000頭と大幅に増えています。(三重県環境森林部資料)

当法人では、2005年度から三重県亀山市関町向井のフィールド(約10ha)で間伐などの森林施業活動を行っており、その時点ではニホンジカの食害による被害は目立ったものではありませんでした。ところが、2006年6月に天然絞り磨き丸太の生産林のスギの22年生林において、幹の全周を剥皮されるという珍しい被害が発生しました。その後、毎年5～6月に同様の被害が発生し、拡大する一方です。(注)

長い年月、育ててきたスギが一夜で台無しになってしまう。ましてや、全周を剥皮されれば確実に枯れてしまうという悲惨な状況です。これでは、林業が衰退するのは当然かもしれません。



2006年6月 食害の直後



2009年10月 食害で枯れてしまいました

## 2 食害対策の検討

このような、森林被害を目の当たりにして、ニホンジカの食害対策の必要性を痛感しました。育林事業者が行う本格的なものではなく、簡単なもの、素人にもできるものや新たなアイデアなどを取り入れた方策を次の観点から検討しました。

材料費…無料、または安価であること

労力…機械を使わずに、少ない労力で山中に運び入れることができ、簡単に設置できること



資材調達…現地や身近にあるもの、ホームセンターなどで購入できるもの

環 境…放置しても自然分解するもの、回収の必要がないか、または簡単に回収できるもの

### 3 食害対策の実施と結果

会員相互で知恵を絞った結果、(写真左)2007年10月から翌年3月までに、順次エリアを決め 8 種類の食害対策を実施しました。

#### (1) ポリエチレンテープを幹にラセンに巻く

荷造り用のポリエチレンテープを幹に巻きつけました。

色による被害の差があるのかを見るために赤、黄、青、紫を各 15 本巻きましたが、処理木には被害は発生しませんでした。

巻きつけるのに手間がかかったこと、2年間で幹が肥大成長し、締め付けるようになったので巻き直しましたが、当初のようにきれいに巻きなおすことができませんでした。



#### (2) 金網を幹に巻く

高さ 1m × 幅 50cm の金網を 20 本幹に巻きつけました。

処理木には被害はなく、また、金網の上部を食べられるという被害もありませんでした。周囲の未処理木は、ほとんどが被害にあっていました。

安価で、幹が肥大成長しても多少は伸びるし、腐蝕もないので数年間は使用できます。

#### (3) 枝打ちした枝を幹に巻く

枝打ちした枝数本を、逆さまにして幹に巻きつけました。

10本設置したところ1本を残し、すべて被害にあいました。これは、枝を縛った紐が腐って枝が落ちたことや葉が枯れ落ち、隙間ができたところから侵入され被害にあったようです。

1.3m 位の高さまで巻きつけましたが、その上部から食べられることはありませんでした。葉が枯れたら付け直す必要があること、近くに枝があれば良いのですが。



#### (4) 竹を幹に巻く

枯れた孟宗竹を割って幹に巻きつけました。15本設置したところすべて被害にあいました。竹を縛った紐が緩くなって隙間が広げられ場合や紐が腐って竹が落ちてしまって被害にあったようです。

1本のスギに割り竹4～5本必要です。枯れた竹でも重量はかなりあります。青竹ではとても重く、運ぶことは困難です。



## (5) 植樹用ケースを幹に巻く

使用済みの植栽木用生分解性プラスチックケースを縦に割り、幹に巻きつけました。

隙間がないので被害はありませんでした。

植樹に使用した中古品を貰い受けたのですが、生分解性といってもかなりの長期間使用できそうです。



## (6) 海苔網で林の周囲を囲む

使用済みの海苔網で約400㎡を囲いました。

網に染み込んだ塩分を舐めに來るのではないかという意見がありますが、真偽は不明です。何箇所か網を破られ侵入されました。飛び越えたのではなく、潜り抜けたようです。

## (7) わら縄で林の周囲を囲む

わら縄で約400㎡を囲いました。飛び越えにくいよう段違いで2重にしました。

腐蝕が予想以上に早く寸断してしまい、その内部の被害は甚大でした。



## (8) 金網で植栽木を囲む

ケヤキを植栽し、金網を円筒状にし、園芸用ポールを支柱に立て固定しました。

やわらかい金網なので、踏みつけられたのか、押しつぶされています。上からは成長点を、横からは枝を食われ、すべての木が被害にあいました。

## (9) その他の被害例

1.8mの高さの5年で生分解するというプラスチック製の網で植栽木を囲ったものです。

上部はポールに固定してあるものの押し下げられたり、横から穴をあけられたり、下からめくり上げられたりと植栽後1年で壊滅状態です。1本当りの費用は高額で、手間もかかっています。



4 あとがき

クリーンヒットとなるような食害対策はありませんでしたが、何かの参考にしていただければ幸いです。これからも、新たな対策を考え、取り組んでゆく所存です。

シカとの共存ができ、林業が盛んになる日が早く来るように願っています。

**報告 Report HOLZMIKAWAをたずねて**

【松永】

愛知県東三河地域の林材業の発展と東三河地域の森林の健全な育成に資するため、愛知県森林組合連合会が主導して整備した三河材流通加工センター（通称：ホルツ三河）を見学する機会がありましたのでその概要を紹介します。

- 事業主体 三河材流通加工事業協同組合（新城市）
- 組合員 12名（県森連、森林組合6組合、木材市場1社、木材加工業者4社、）
- 施設 平成12～14年度に24億円（国、県、市町村の補助あり）かけ建設。
- 従業員 35名

原木市場と製材・プレカット工場、防虫防腐工場を併設し、原木から製材品・住宅部材に至るまでの一貫した供給体制を築くことで、木材の流通過程を簡略化し、コストの削減に努めている。そして、山主に対しては経費負担の軽減を、消費者に対しては良質な製材品を安定的に供給することを目指している。



原木選別機

● 鈴田管理部長代理の話 ●  
 ○愛知県産原木は年間約7.5万m<sup>3</sup>でホルツ三河は約3.5万m<sup>3</sup>を扱っている。  
 ○スギの平均原木市場価格は1.1～1.2万円/m<sup>3</sup>で隣県（0.8万円/m<sup>3</sup>程度）より多少高い。  
 ○加工段階で出る樹皮は畜産業者へ、30%程度出る端材はチップ加工し100%利用している。チップは最近外国からの輸入が難しくなっており、高くなりつつある。  
 ○東三河には専門林家は数名のみで、しかも会社形態の林業経営体がない。森林組合が頼り。  
 ○最近太陽光パネルに人気が集まって2～3ヶ月前から新築件数が伸びており、今後に期待している。  
 とのことでした。

今後もホルツ三河が活躍し、東三河の森林林業が健全に育成・発展されることを期待しています。

**SIDE2. 面白かった一冊**

**山村生活譜**

「山に棲むなり」

著者 宇江 敏勝

新宿書房出版

熊野の山里に棲む著者が山林労働に従事するかたわら記した山の歳時記。茶粥、水普請、炭焼き等々変貌しつつある山村の現在を毎日のなげないうつろいのなかで描いた随想集。きこりが語りかける樹と山の自叙伝。犬が助演男優賞です。

【裏川】

**そんなバカな！**

—遺伝子と神について—

著者 竹内 久美子

文春文庫

生物学、動物行動学をこんなに面白く説明してくれる本はないと思います。

「我々はふつう自分とか自我というものがあると思っているが、何十億年もの生命の営みの中では、人間に限らずあらゆる生物の個体は遺伝子の乗り物(ヴィークル)に過ぎない。」

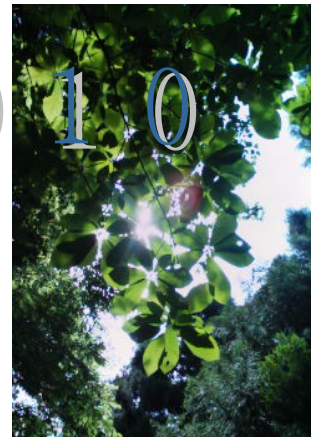
と説明する作者のおかげで、ウメを美しいと感じても「ウメの『利己的遺伝子』のなせる業だな」。自分や他人の行動もしかり。もの見方が変わります・・・。

【清水】



—速報!—

# 水源の森フォーラム2010



— 100年先を見据えた森林再生のための施業方法を考えるセミナー —

- 開催日時 : 2010年5月29日(土) 13:30~16:00
- ところ : 四日市環境学習センター
- テーマ : 水源の森として理想なのはどのような森林なのか具体的イメージの共有を目標に

絶滅種、希少種など生物の保護。海洋、河川、土壌など環境の保全。様々な観点やアプローチによる保護保全活動が活発化しています。そんななか、私たち森林の風は、その全ての根源が、水源を守る豊かな森林を取り戻すことにあると考え日々活動しています。

本年、名古屋でCOP10が開催されるにあたって、各地で多種多様な議論が行われています。保護、保全すべき「生物多様性の恵み」とは何か？それには答えがあります。COP10の公式サイトから引用します。

維持的  
サービス

生態系サービスの内すべての基盤となるもので、水や栄養の循環、土壌の形成・保持など、人間を含むすべての生物種が存在するための環境を形成し維持するものです。

調節的  
サービス

汚染や気候変動、害虫の急激な発生などの変化を緩和し、災害の被害を小さくするなど、人間社会に対する影響を緩和する効果を指しています。

供給的  
サービス

食料や繊維、木材、医薬品など、私たち人

間衣食住のために生態系から得ている様々な恵みを指します。

文化的  
サービス

生態系がもたらす、文化や精神の面での生活の豊かさを指します。レクリエーションの機会の提供、美的な楽しみや精神的な充足を与えるものです。

COP10では、それら「生物多様性からの恵み」を守り維持するための国際的課題として、目標値や利益配分の枠組みを話し合うそうです。では、そのために何をすればよいか、現場の、具体的イメージはどこにあるのでしょうか？

- 私たち森をフィールドにする者にとって、どのような森が生物多様性の森であり水源を守る森なのか？
- そうした理想的な森を実現する施業方法とは？

熱く語り合い、できれば定義を共有したい、そんなフォーラムです。

お問い合わせは事務局まで。

## 編集後記



父と子で森に親しむ  
風景を守りたい

昨年春に「森林の風」の会員に入れていただき、すぐさま「機関紙発行の編集係り」を仰せつかりあつという間に一年が過ぎようとしています。

皆さんの知恵と経験、助言のおかげで3回目の発行を迎えました。原稿提供に協力して

【裏川】

いただいた方々にはこの場をかりてお礼を申し上げます。

新聞での報道回数も増えてきています。外部の人に「森林の風はこういう団体なんだ」ということをよく理解していただけるよう微力をつくしていきます。ただ、この点は皆さんからの原稿内容に負うところが大きいので、バラエティーに富んだ原稿を今後ともよろしく願っています。

安全作業をモットーにお互いに学び、楽しみながら『水源の森』を目指しましょう。